



石狩川ははんなし、
せつかく作った田んぼは海
のように波だっています。
村びとたちは「石狩川を
むこうにおしやって、おと
なしい川がこちらにほしい
なあ」といって、ため息を
つきました。

蟠龍伝説



とつぜん、二頭の龍がま
いあがり、大雪山にぶつ
かっていった。はげしい山
鳴りとともに大雪山はぱっ
くりと口をあけた。



雨がやみました。
あたらしく生まれた当麻
川と牛朱別川がどこまでも
つづき、かがみのようにし
ずかです。



当麻鐘乳洞は昭和32年、石灰岩の発掘中に偶然発見されました。洞内の形状が2頭の龍が横たわっているように見えることから、「龍の休むところ」として、「蝦夷蟠龍洞」と名付けられました。その後昭和36年、北海道指定天然記念物に指定。「当麻鐘乳洞」と名称を変えました。

当麻鐘乳洞は人類が誕生するはるか昔、1億5千年前のジュラ紀から、現在まで形成され続けていると言われています。全長約135㍎、高さ8㍎、3段に分かれた洞内には、学術的に希少価値の高い管状鍾乳石(マカロニ鍾乳石)をはじめ、たけのこ状の鍾乳石、石筍や、つらら状の鍾乳石と石筍が繋がった石柱を見ることができ、訪れた人は太古のロマンに触れることができます。



当麻鐘乳洞(当麻町開明4区)
営業時間/9:00~17:00
冬期休業(10月下旬~4月中旬)
入場料/大人600円 小中学生400円
幼児無料
☎0166-84-3719

鐘乳洞発見を機に、郷土芸能「蟠龍太鼓」が発足。また開拓100年(平成4年)には、長崎の龍踊りをルーツにした「当麻蟠龍隊」が誕生。また2頭の龍が村を救うストーリーが描かれた絵本「蟠龍伝説」が製作されました。夏イベント「蟠龍まつり」では、蟠龍太鼓の勇ましい響きとともに、アイヌ文様をまとった青い龍が当麻蟠龍隊の手により勇壮に舞います。また絵本「蟠龍伝説」は「動く絵本」としてリニューアルされ、YouTubeで公開されています。



当麻鐘乳洞内は、季節に関係なく常時、温度9℃、湿度90%前後を保ち、お酒の熟成に非常に適していると言われています。この環境を生かした当麻の特産品が日本酒「龍乃泉」です。

龍乃泉には、このお酒のために当麻の米農家 長谷川農園さんが栽培した酒米彗星を使用しています。収穫された酒米は、旭川市の老舗酒蔵 高砂酒造(株)さんに送られ、精米歩合45%以下の純米大吟醸酒として醸造されます。

こうしてできた日本酒を、火入れがされていない生酒の状態で鍾乳洞に搬入します。熟成期間は約2カ月。深く雪に覆われている2月下旬に搬入し、雪解けが始まる4月下旬に搬出されます。その作業は町民ボランティアが集まった「龍乃泉酔いしれ隊」が行い

ます。洞内は非常に狭く、完全に日本酒を保管できるスペースも限られているため、毎年約1500本しか搬入できません。搬入作業は全て手作業。バケツリレー方式で丁寧に進められます。搬出された日本酒は再度、高砂酒造に持ち込まれ、火入れされた後、店頭に並びます。

熟成させた龍乃泉は、まろやかさが増します。さらに太古から存在し、「蟠龍伝説」が眠る洞内で熟成させたことにより、神秘的な力が宿つています。それに加え、完成するまでに関わる多くの町民の龍乃泉に掛ける「熱い思い」が籠っています。

一本一本に「どうま」が詰まった貴重な「メイドイン当麻」の特産品は毎年、町内限定販売とふるさと納税返礼品のみで取り扱っています。



当麻町ふるさと納税

「食育 木育 花育」のまちづくりは
ふるさと納税により支えられています



くるみなの散歩道 ※詳細は 10 ページ



Walking Road of
KURU-MINA

くるみなの庭 ※詳細は 16 ページ



NIWA of
KURU-MINA

くるみなの木遊館 ※詳細は 10 ページ



Play Wood of
KURU-MINA



“クル” はアイヌ語で「人」

“ミナ” は「笑う」

みんなくる＝くるみな
一笑顔が集まるー

Forest of KURU-MINA

当麻の中心から、私たちを見守る当麻山。わがまちのシンボルです。

幼い頃から当麻山で遊び、自然の恵みを学びました。頂上からわがまち当麻町を展望し、その雄大な大地を知りました。当麻山は町民の心のふるさとでもあります。

当麻山が、これから多くさんの人が訪れ、笑顔あふれる場所であってほしい。そんな願いを込めて当麻山を「くるみなの森」と呼び、これからも木育、花育の場として活用していきます。



とうま山展望台



とうま山展望台からは北海道の広大な大地を望むことができます。展望台への道はくまの歩道ともつながっており、道中ではくまの森の自然を満喫できます。

当麻世界の昆虫館

パピヨンシャトー

(☎0166-84-2001)



木や花に集う生物を知ること“木育、花育”。色彩鮮やかな蝶を中心に、国内外の昆虫標本1万点を展示。また生態観察室では、実際に生きた昆虫の姿を観察できます。

営業時間／9:00～17:00

冬期休業(10月下旬～4月中旬)

入場料／大人(個人)600円 (団体)500円

小人(個人)400円 (団体)300円

幼児は無料

キャンプ場

(☎0166-84-3163)



気軽にアウトドア体験ができます。ログハウスやコテージ、炊事場・トイレも完備。夜の静寂も魅力の一つ。耳を澄ませば葉音や虫たちの声。自然の広さと深さを感じます。

コテージ13,000円 ログハウス3,600円

バーベキューハウス600円(1時間)

その他 (持込)テント800円 タープ500円

タープ一体型テント1,200円

(貸出)マット、毛布 300円(1枚)

冬期間はスノーキャンプサイトとして利用可能(詳しくは☎0166-56-9020)

Observation Deck

Papillon Chateau

Campsite

Field Athletics

フィールドアスレチック

(☎0166-84-3163)



緑豊かなエリアに30種類ものポイントがあり伸び伸びと遊ぶことができます。ここでは大人も子どもも一緒に。歓声を上げて走り、自然の中で汗をかくことの楽しさを味わえます。

営業時間／9:00～17:00

冬期休業(10月下旬～4月中旬)

入場料／大人(個人)600円 (団体)500円

小人(個人)400円 (団体)300円



長万部二股ラジウム温泉の天然石灰華(湯の華)原石を使用し、その泉質を再現しています。圧注浴・うたせ湯・サウナ完備。研修室・レストラン・休憩室も備えています。



当麻町6条西4丁目 ☎0166-58-8112
営業時間/10:00~22:00(入館は21時まで)
利用料/大人500円 回数券(11枚)5,000円
中学生300円 小学生200円
幼児無料

パークゴルフ場



当麻町6条西4丁目 ☎0166-84-3900
営業時間/8:00~18:00(9~10月は17:00まで)
冬期休業(10月下旬から4月中旬)
利用料/大人(町内)400円 午後券300円
大人(町外)600円 午後券500円
小人300円
クラブ・ボールレンタル 300円

フィールドボール場



当麻町6条西4丁目 ☎0166-84-2587
営業時間/9:00~17:00
冬期休業(10月下旬から4月中旬)
利用料/大人400円 小人300円
クラブ・ボールレンタル各150円

ゴルフをベースに、小さな子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に楽しめるようにアレンジされた当麻町オリジナルのスポーツです。

コレが気になった方は…



観光施設

当麻鐘乳洞(詳細は23ページ)

くるみの森

くるみの散歩道／くるみの庭
くるみの木遊館／とうま山展望台
当麻世界の昆虫館パピヨンシャトー
フィールドアスレチック／キャンプ場
フィールドボール場(詳細は28ページ)
とうま山パークゴルフ場(詳細は28ページ)
ヘルシーシャトー(詳細は28ページ)
道の駅とうまー物産館でんすけさんの家ー
当麻町宇園別2区 ☎0166-58-8639

公共施設

公民館まともーる

当麻町3条東2丁目 ☎0166-84-2111

スポーツセンター

当麻町4条東2丁目 ☎0166-84-5008

農村環境改善センター

当麻町4条東2丁目 ☎0166-84-2123

町立図書館

当麻町4条東2丁目 ☎0166-84-2566

町立診療所

当麻町4条西3丁目 ☎0166-84-2335

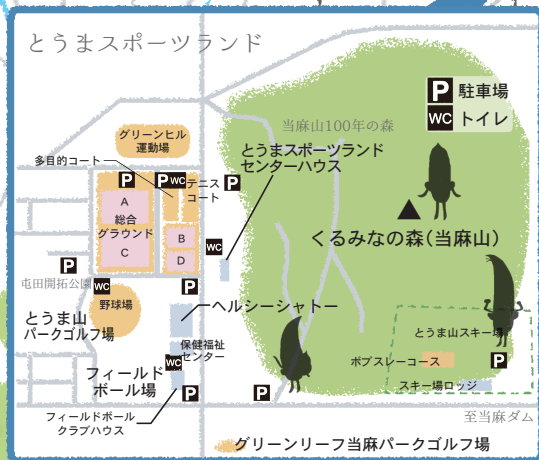
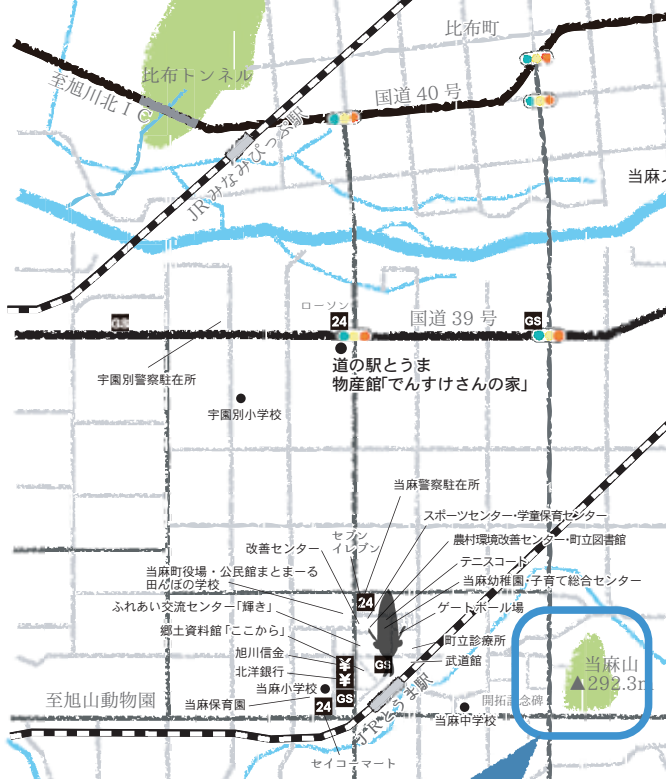
ふれあい交流センター「輝き」

当麻町4条西3丁目 ☎0166-84-2325

子育て総合センター

当麻町4条西3丁目 ☎0166-84-5440

郷土資料館「ここから」(詳細は37ページ)



観光のお問い合わせ

当麻町役場まちづくり推進課

☎0166-84-2111/FAX0166-84-4883

(株)とうま振興公社(道の駅とうま内)

☎0166-58-8639/FAX0166-84-5366

とうまスポーツランドセンターハウス

☎0166-84-3163 冬期休業(10月下旬～4月中旬)

(有)HEYタクシー(民営) ☎0166-58-8811